

## 「大きな目標に向かって」

いもと みつあき  
(株)高陽 井本 光昭



住 所: 加古川市志方町西牧197-1  
T E L: 079-452-1301  
営業内容: 靴下製造販売

もうすぐ加古川会議という大きな大会があるからということ、父の薦めで青年部に入会したのが2015年の8月ごろ、ちょうど加古川楽市の直前で何も分からないまま設営をお手伝いし、昼間は楽市、夜は飲み会と怒涛の2日間を終え、打ち上げで当時の委員長と副委員長たちが涙を流していたのを見て、私は大人になってもこんなに熱く関わり合える仲間ができるんだと感動したのを覚えています。翌年2016年11月に開催された全国会長研修会かこがわ会議では、物産部会配属に

なり、会場設営や物産展の管理などをお手伝いし、全国のYEGの皆さんをお出迎えする大きな設えを経験し、こんな田舎の団体がこんな大きな大会を開催できるんだと感動し、最後に当時の大会会長をみんなで胴上げした際には、一体感を感じ先輩たちの大きさ、加古川の強さを実感しました。そして翌年初めての理事となり、現在の岡本会長が委員長をしていた会員交流委員会で副委員長を務め、一から企画を組み合わせることを経験し、当日うまくいかないことも多々ありましたが、真夏の暑い中ふらふらになりながらも、委員会メンバー全員で力を合わせ家族例会を開催でき、参加いただいたご家族の皆さんの笑顔に触れ、関われば関わるほど仲間との絆や、企画を組み上げることの面白さを感じました。その後副委員長を3回経て、今年度は委員長という立場で企画を組み立てています。副委員長の時には感じなかった不安や、うまく行くんだろうかという重圧を感じ、副委員長の時に自由にできていたのはそれぞれの委員長たちがしつかりして、責任を負ってくれてたんだと今になり実感しています。だけど僕1人の力なんて微々たるもので、3人の副委員長とメンバーの皆さんに支えられながら、担当例会の開催に向け進んでおります。父からも青年部は失敗してもいい、

経営の練習やと思っただけで支えてくれるメンバーと進んだらいいと言ってもらい、岡本会長からも、会長が木の幹のようにドシッと構えみんなを支えるから自由をやったらいいいと言っていたら、僕たちは自由に木の枝を伸ばし、新たに掴まれる場所を見つけ、幹に掛かる負担を少しでも分担できるように思うと思っています。

最後に父からいつも青年部活動に対し、父の顔ではなく、自分の力で交流を深め関係を築きなさいと言われており、そのようにしようと努力するのですが、名刺交換の際に必ず歴代の息子と言う言葉がついて回ります。私の結婚披露宴の際にも父の名前のおかげでたくさんの方々にお集まりいただけました。

父の交友関係、人脈の広さは子供の頃からずっと尊敬しており、私はあまり得意ではなく父と同じようにはできないと思っただけです。ですが父とは違う方法で、いつか僕のためならと人が集まってくれるような人になりたいと思っております。

そう思えるようになったのも青年部に入会したからこそと思っただけです、入会を勧めてくれた父に感謝しております。

